

たまゆら終活応援レポート

第047号

平成29年10月1日

終活は流れて変る花筏！ 55回のセミナー開催は～静かな川の流れのように～

平成26年1月27日、文京シビックセンター3階の会議室で第一回終活応援セミナーがスタートし、いつしか55回を迎えるました。静かな流れに浮かんだ花筏のような社会の変化に沿って様々な形を変えながら開催した『たまゆらサロン』の終活応援セミナーに対する取組には、理解し協力して下さった多くの方々からの熱い想いがあつてのことと心に刻んでいます。

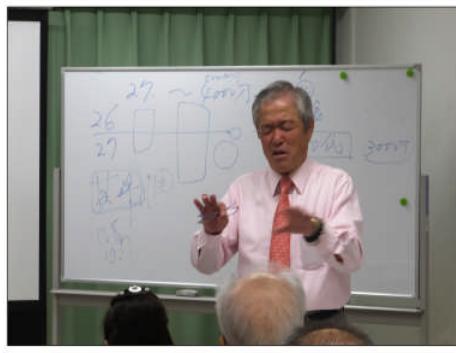
「花筏」が春の季語であることを知りつつ終活の「筏」になぞらえて見てきました。

そもそも筏は、川に流された骨壺（こつっぽ）の様子からきているのだそうです。いにしえの時代からの言い伝えで、川に浮かべていた「筏」に、骨壺を紐で結んで流していたもの。



29年9月の終活応援セミナー／資産形成塾・の活動報告

■ たまゆら 資産形成塾



想いよ届けとばかりに、熱く語る講師の富永先生。受講生に念力を掛けているわけではありません。

◆講師⇒ 資産形成塾・専任講師 税理士 富永徹也氏

◆ 9月22日(金) in 文京区民センター3階
いいですね？ 残念ですか？ シリーズ ■

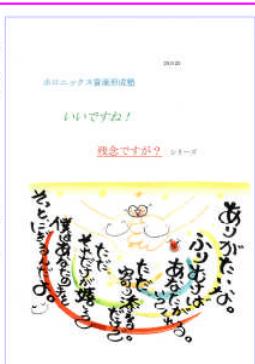
いま、静かに話題になっている子供向けの書籍『ざんねんな・いきもの事典』をかざしながら講演が始まる。

大人なんだから当然知っているだろうと思うようなことが…「実は、そうではなかった！」というような表現を引用するための書籍なのですが、税金や金融のこと、そしてマイナンバーのことなどについて、知っていると思っていたことが『ざんねんな～』の言葉でどんでん返しに。

ワニの話、ゾウの話、など知っていることだと思っていた動物のことが、この書籍を読んでいた子供たちからその間違いを指摘される！

事例では、何とも微笑ましいことばかりです。現代の税制や国の新しい制度について「実は知らなかつた」ことが余りにも多すぎます。

セミナーの中では恒例の展開なのですが、新聞や雑誌の記事を税務の専門家としての切り口で分析してそのことを解説して下さる富永先生の講話が話題になるのは、その当たりにツボがあるのでしょう。次回のセミナーもぜひお楽しみに。



生命保険とは空気のようなもの？…されど…？？？ 『無ければ生きられない空気』 貴方が元気になれる空気…を選んでいますか！

“生命保険の選び方が分からぬ” “生命保険はどれも同じでしょ”とか、果ては“安けりやそれでイイ”というお話を時々耳にします。残念であり、“本当にそれでいいんですか？”とびっくりしてしまいます。

肝心な「何のために（何を守りたくて）保険に入っているのか？」という視点がぼやけていて、そんな質問を投げ掛けるとやっと気付かれるようです。

先日、立て続けに“あの時、解約をしなければ良かった” “話をしてくれた時に真剣に考えれば良かった”と言わされました。何とも切ない気持ちになり、私自身も“あの時に、もっとこうすれば・・・”と反省しました。

何事も「後悔先に立たず」で取り返しがつきません。どんな内容だったかというと、まだ60代の男性のケースと40代の女性のケースです。

今回は60代の方のケースをお伝えいたします。

この方は、現役中は事業を営んでおられてかなり羽振りが良かったそうです。

2～3日徹夜をしても大丈夫で、病院にかかったことも無い健康自慢だったそうです。ところが60代になった頃に大腸がんが見つかり、幸いにも早期発見だつたため事無きを得たものの、事業が業績悪化してしまい倒産に追い込まれたそうです。

その後は腎臓を患い人口透析を受けるようになり、

治療を開始して2年経過した頃に脳卒中も併発されました。

健康に自信があったが故に、個人や会社で加入していた生命保険は、加入しては解約をする繰り返しだったそうで、ちょうどがんが見つかる前に解約をしたために無保険状態で色々な治療にあたっておられました。

せめてもの救いは、社会保険だけは確保していたため、障害者認定の申請や障害年金への切り替え手続きのお手伝いをしました。

莫大な医療費を負担する立場になって初めて保険の大切さが分かった、とのことでした。

“世話になった、ありがとう”の言葉をいただきながらも、“ああ、あの時に解約さえしなければ”の言葉もセットになってしまふと、何とももどかしさを感じる今日この頃です。

保険はカタチが無いもの、カタチになっている「保険商品」を選ぶのは簡単で良いのですが、先に挙げた目的に合っているかが肝心なところで、ご本人の考え方やご家族状況を把握した上で選ぶ・若しくは作らなければ、本来の目的とはかけ離れた保険を持つことになってしまいます。

「自分に合った保険を選ぶ」ことは安心に繋がりますから、身近に保険のプロを備えることをお勧めします。

(ファイナンシャル・プランナー 細野孟士)

健康生きがい開発財団(創立25周年記念)全国集会 基調講演 フレイルで健康寿命を延ばす! 財団理事長・辻哲夫氏 東京大学・飯島勝矢教授



健康生きがい開発財団は文京区小石川に拠点を置く全国に5000人を超える「健康生きがいづくりアドバイザー」を養成し、社会に派出してきた厚生労働省に縁のある組織です。

今では耳慣れた「終活」においても、「健康と生きがい」の大切さが問われています。文京区社会福祉協議会や文京区福祉部の後援で開催(10月7日)した財団の全国大会では『フレイル予防』について語られました。

(健康生きがいづくりアドバイザー・平成6年8月期生 細野孟士)



オシッコでがんを発見! 画期的システムがスタート『まも～る』



自分が、がんに罹患していたからこそ、がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えたいと熱く語る…津川典久氏



2人の内1人ががんにかかり、3人に1人ががんで死亡している。

こんな衝撃的な言葉が飛び交っても、ご自分だけはガンにはかかるないと過信しているかもしれませんか？

早期に発見して早期に治療ができるからこそ、がんも治せるのです。働き盛りの人に勧めたいのが、オシッコでがんの発見ができる画期的システムの『まも～る』です。

忙しくて病院へ行く時間がないと言わずに、会員になってオシッコを郵送するだけなのです。詳細については津川典久氏にお問い合わせ！

認知症予防・新書 No.47

特定非営利活動法人 認知症介入指導協会

代表理事 清輔喜美男

<http://www.ninchisho-yobo.jp>

～アルツハイマー 血液で診断～

—朝日新聞—

アルツハイマー病かどうかをわずかな血液で診断する手法を、京都府立医大の徳田隆彦教授（神経内科）らの研究グループが開発した。

実用化すれば、高齢者の健康診断などにとり入れることで患者の早期発見に役立つ可能性があるという。

アルツハイマー病の発症が近づくと、脳内に「リン酸化タウ」というたんぱく質が蓄積し始めることが知られている。

リン酸化タウは脳脊髄液にも含まれるが、体に針を刺して採取する従来の検査法は患者の体への負担が大きかった。また、血液中には微量しか存在しないため、これまで検出は難しいとされていた。

研究グループは、リン酸化タウとくっつく性質がある抗体を目印として利用するなどして測定器で検出する手法を開発。0.2ミリリットル程度の血液があれば検出できるという。

この方法で60～89歳のアルツハイマー病患者20人の血液を分析したところ、リン酸化タウが健康な人に比べて多い傾向が確認できたという。

徳田教授は「今後更に多くの患者を対象に有用性の検証を進めたい」と話している。

(朝日新聞9月6日朝刊より要約)



看取り士日記より…No.44 ～慈夢の中、愛に包まれて～

細く可憐な彼岸花が満開の中で、静岡への講演会。

穏やかに導かれるままに講演会を終える。

会場の皆様が引かれた後に、一人の女性が涙ぐんで近づく。先日、愛するご主人をその腕の中に抱いて看取られた。

1カ月前に、こんなご連絡いただいた。

「3年前に余命宣告を受けました。

当初は治るのでと気楽に構えておりました。

しかし治る病気ではないこと、体力の限界が来ていること、主人の会話が死のことばかりであること。

主人は自宅で私と2人きりで最期を迎えるといつも言っています。一人で主人のことを考えると、不安以外ありません

大事なご主人の最期を覚悟しなくてはと思うのだが、何を相談すればいいのかもわからず。

主人に何ができるのかを教えてください、不安やわからないことをどうすればいいのか教えてくださいと、混乱を隠しきれない様子。

愛するご主人の最期を幸せにと思いながらも、心



日本看取り士会 会長
柴田久美子さん

が乱れ、死という、重い荷物をどう心に收めて良いのか分からぬという彼女だった。

ご相談に対応、彼女の心が少しづつ整う。

そしてお昼12時過ぎ、彼の大好きなカレーを作ろうと野菜を切り、鍋を火にかけながら、ご主人の手首に手を添える。二回トントンと脈を打つ。

このトントンと言う脈は彼女がご主人の体を寝かしつけるようにしていたことの、彼なり返事のようだったと言う。

講演会場で涙となぜか笑顔で抱きしめあつた彼女の中に、確かにご主人の笑顔が見えた。

「問い合わせた時は、恐怖以外はありませんでした。

相談をしているうちに、少しづつやるべきことが分かりました。最期は夢の中のように愛が溢れていました。満足です」

心が整うことで、旅立ちは愛の中でと教えてくださったご夫婦に感謝 合掌

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本看取り士会
一般社団法人 在宅ホスピス なごみの里
〒701-1145 岡山市北区横井上1609-2-107
TEL 086-728-5772 FAX 086-239-3992
Twitter: @ShibataKumiko
<http://mitorishi.jp/>
<http://nagominatosato.org/>

No.56

『第13回 ホロニックス資産形成塾』 おもしろ(税)ミナー

新オフィスにて開講！

いいですね この遺言方法！

残念ですね その相続方法！

あなたの遺言 具体的事例事を判断！

◆講師：一般社団法人 相続アドバンスト倶楽部 主宰
JICA一般社団法人 相続診断協会パートナー
富永 梶也 氏

◆日時：平成29年11月17日(金曜日)
午後14時00分～16時00分

◆会場：たまゆらサロン（株ホロニックス総研内）
(文京区本郷4-25-8
レッチフィールド本郷4丁目ビル7階)

◆会費：無料

※今回は6~10名ほどの少人数制となっております。

No.57

『第14回 ホロニックス資産形成塾』 おもしろ(税)ミナー

相続・税制・遺言 気になることをお聞かせください
相続・税制・遺言相談室

◆講師：一般社団法人 相続アドバンスト倶楽部 主宰
JICA一般社団法人 相続診断協会パートナー
富永 梶也 氏

◆日時：平成29年12月予定（日程未定）
午後14時00分～16時00分

◆会場：未定（決定次第、追ってご連絡させていただきます。）

◆会費：無料

◆定員：30名（予定）

※講演終了後に懇親会として忘年会を企画しております。
詳細は決定次第、追ってご連絡させていただきます。

たまゆら・茶話会（会場：たまゆらサロン）

7歳若返る！佐藤ケイ流 ガッテンメイク！

健康・素肌美メイク講座

平成29年11月11日(土)
11月22日(水)
午後2:00～4:00（定員5名）

新オフィスにて再始動いたします！

◆講師：佐藤ケイ氏（メイクプロデューサー）

◆会場：たまゆらサロン 新オフィス

（文京区本郷4-25-8
レッチフィールド本郷4丁目ビル 7階）

◆参加費：3000円～（たまゆら移転限定価格）
鏡、メイク用品は各自持参



男性も女性も見た目が100%！

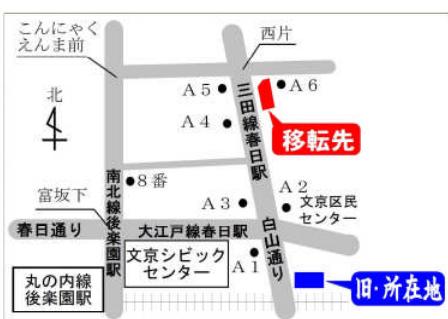
髪型、眉毛などトータルプロデュース

●NHK「ためしてガッテン」に出演。
「化粧の法則」制作協力及び出演（7才若返る体験を…）

●ロータリークラブ、ライオンズクラブなど男性向けの身だしなみセミナーも多く開催。幅広い分野にてご活躍中

平成29年9月7日(大安)に移転しました。

カウンセリング・サロン『たまゆら』



専門家の皆さん！
勉強会・研究会の拠点
茶話会の会場として
『ご縁』が広がり
笑いと笑顔のある
楽しいお部屋として
ご利用をください。

移転先：113-0033
文京区本郷4-25-8 7階
レッチフィールド本郷4丁目ビル



リラックスしてお話しいただけます